



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 株式会社コア 上場取引所 東
 コード番号 2359 URL <https://www.core.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松浪 正信
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市川 卓 TEL 03-3795-5111
 最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,464	1.5	1,101	18.3	1,148	16.8	753	10.8
2019年3月期第3四半期	14,246	△1.0	931	16.1	983	15.6	679	25.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 800百万円 (18.2%) 2019年3月期第3四半期 677百万円 (19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	53.24	53.19
2019年3月期第3四半期	47.83	47.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,471	10,819	61.9
2019年3月期	17,318	10,210	58.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,803百万円 2019年3月期 10,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	20.00	25.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 コアグループ結成45周年記念配当金 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	7.5	1,800	11.3	1,800	7.3	1,270	1.8	89.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	14,834,580株	2019年3月期	14,834,580株
2020年3月期3Q	653,360株	2019年3月期	709,663株
2020年3月期3Q	14,151,131株	2019年3月期3Q	14,216,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害や消費税増税に伴う消費動向など景気に対するリスクがあるものの、底堅い企業収益や雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済においては、一旦警戒感が後退しつつも予断を許さない米中間の貿易摩擦、英国のEU離脱や中東・アジアでの地政学的リスクなど、景気への影響が懸念される問題が散見され、依然として先行き不透明な状況にあります。

情報サービス産業は、社会的に深刻化する人手不足を背景に、企業による合理化・省力化に向けた情報化投資が続いており、特にAI（人工知能）・IoT（Internet of Things）等の先進分野に対する需要が依然として活発であることから堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、成長の原動力として「コアビジネス（※）」という事業領域を設定し、受託型のSIビジネスから提案型のソリューションビジネスへビジネスモデルを転換するとともに、「コアビジネス」自体の規模を拡大させることで、ソリューションメーカーとしての特長を最大限生かすビジネスを推進してまいりました。

全国に展開したカンパニー制を採る地域密着型の事業基盤により、拠点各々の業容や強み、地域性を活かした事業の「深掘り」をすることで規模拡大と生産性向上に努め、「コアビジネス」で培われた業務ノウハウと先端技術を用いた自社製品による競争力あるソリューションを全国に「横ぐし」で提供することで、顧客満足度を高めるサービス展開を図ってまいりました。

この結果、コアビジネスのメディアやGNSS、提案型ビジネスにおける金融や社会基盤などの分野で売上が増加し、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,464百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は1,101百万円（同18.3%増）、経常利益は1,148百万円（同16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は753百万円（同10.8%増）となりました。

(※) コアビジネス

同じ事業、マーケット、サービスを当社グループ各拠点が「横ぐし」で連携することでスケールメリットを活かすとともに、スピードある変化を取り込むことでグループ全体の成長を目指す事業として、メディア、公共、医療、GNSS、IoT（AI）の5つを定義しております。

セグメント別の事業の状況は次のとおりです。

[セグメント情報に関する定性的情報等]

	売上高							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,398	△8.0	6,015	18.6	50	0.3	14,464	1.5
2019年3月期第3四半期	9,124	△0.0	5,071	△2.7	50	0.3	14,246	△1.0
(参考) 2019年3月期	12,403		7,992		68		20,464	

	営業利益							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	253	△36.7	831	60.0	17	47.2	1,101	18.3
2019年3月期第3四半期	400	49.0	519	0.5	11	△30.7	931	16.1
(参考) 2019年3月期	428		1,173		15		1,616	

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

< S I ビジネス >

主に金融分野での大型案件の終息や、従来型の受託開発であるスマートフォンや情報家電といった組込み系分野での受注規模が縮小する中で、新たな顧客や事業領域への展開を図り一定の成果が表れつつありますが、全体的に力強さを欠く状況で推移しました。この結果、売上高は8,398百万円（前年同四半期比8.0%減）、営業利益は253百万円（同36.7%減）となりました。

< ソリューションビジネス >

車載など一部の分野で弱い動きがあったものの、コアビジネスのメディアやGNSS、金融や社会基盤などの提案型ソリューションビジネスは総じて伸長しました。この結果、売上高は6,015百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。利益面では、コアビジネスにおいて生産性の高いメディアが堅調だったことに加え、公共でシステム基盤の商用化が進展したことに伴う開発コスト削減などが寄与し、営業利益は831百万円（同60.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ320百万円増加し、8,920百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,065百万円減少しましたが、現金及び預金が385百万円、仕掛品が908百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ167百万円減少し、8,550百万円となりました。これは、無形固定資産が67百万円、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が102百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は152百万円増加し、17,471百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し、5,146百万円となりました。これは、短期借入金が139百万円、その他に含まれる前受金が178百万円増加しましたが、賞与引当金が366百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ361百万円減少し、1,505百万円となりました。これは、長期借入金が355百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は456百万円減少し、6,652百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ608百万円増加し、10,819百万円となりました。これは、配当金の支払が282百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益が753百万円となり、その他有価証券評価差額金が60百万円増加し、自己株式が59百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月25日に公表しました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633,915	3,019,584
受取手形及び売掛金	4,588,496	3,523,417
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	132,938	156,512
仕掛品	457,783	1,365,867
原材料及び貯蔵品	40,505	43,066
その他	646,976	712,375
流動資産合計	8,600,617	8,920,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,617,754	1,618,338
土地	3,705,566	3,705,566
その他(純額)	441,891	414,632
有形固定資産合計	5,765,212	5,738,537
無形固定資産		
のれん	117,010	84,101
その他	255,750	221,452
無形固定資産合計	372,760	305,554
投資その他の資産	2,580,345	2,506,386
固定資産合計	8,718,318	8,550,477
資産合計	17,318,935	17,471,302
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,324,983	1,228,202
短期借入金	1,955,389	2,094,658
未払法人税等	136,146	94,333
賞与引当金	730,065	363,978
受注損失引当金	55,940	65,933
製品保証引当金	3,028	1,966
その他	1,036,487	1,297,821
流動負債合計	5,242,041	5,146,893
固定負債		
長期借入金	1,237,540	881,675
リース債務	241,952	174,436
繰延税金負債	82,377	134,478
役員退職慰労引当金	181,689	181,689
退職給付に係る負債	24,551	25,223
資産除去債務	24,791	31,131
その他	73,943	76,749
固定負債合計	1,866,845	1,505,384
負債合計	7,108,887	6,652,277

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	152,382	183,645
利益剰余金	10,105,719	10,576,603
自己株式	△753,379	△693,430
株主資本合計	9,944,923	10,507,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,335	300,671
為替換算調整勘定	6,725	△4,431
その他の包括利益累計額合計	247,061	296,239
新株予約権	17,134	17,134
非支配株主持分	929	△1,368
純資産合計	10,210,047	10,819,025
負債純資産合計	17,318,935	17,471,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	14,246,253	14,464,680
売上原価	10,892,570	10,894,149
売上総利益	3,353,682	3,570,531
販売費及び一般管理費	2,422,213	2,469,002
営業利益	931,468	1,101,528
営業外収益		
受取利息	7,984	14,198
受取配当金	44,684	34,251
受取賃貸料	14,360	9,775
補助金収入	235	579
保険解約返戻金	9,269	3,462
その他	10,760	11,107
営業外収益合計	87,296	73,375
営業外費用		
支払利息	13,795	12,745
持分法による投資損失	5,208	67
賃貸収入原価	4,719	3,493
投資事業組合運用損	3,681	8,277
その他	7,552	1,461
営業外費用合計	34,957	26,045
経常利益	983,807	1,148,858
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4
受取保険金	—	729
特別利益合計	—	733
特別損失		
固定資産処分損	—	6,456
投資有価証券評価損	—	26,206
投資有価証券清算損	481	—
その他	—	4,736
特別損失合計	481	37,400
税金等調整前四半期純利益	983,326	1,112,191
法人税、住民税及び事業税	235,189	235,434
法人税等調整額	65,829	124,949
法人税等合計	301,018	360,383
四半期純利益	682,307	751,807
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,378	△1,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	679,929	753,382

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	682,307	751,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,756	62,670
為替換算調整勘定	△545	△1,095
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,281	△12,758
その他の包括利益合計	△5,071	48,816
四半期包括利益	677,236	800,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675,038	802,560
非支配株主に係る四半期包括利益	2,198	△1,936

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	S I ビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,124,541	5,071,304	14,195,845	50,407	—	14,246,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,682	67,533	69,215	10,855	△80,070	—
計	9,126,223	5,138,837	14,265,060	61,263	△80,070	14,246,253
セグメント利益	400,474	519,376	919,851	11,617	—	931,468

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	S I ビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,398,423	6,015,687	14,414,110	50,570	—	14,464,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	966	73,313	74,280	11,556	△85,836	—
計	8,399,389	6,089,001	14,488,390	62,126	△85,836	14,464,680
セグメント利益	253,364	831,065	1,084,430	17,098	—	1,101,528

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。